

レジオネラ症を発生させないために

定期点検を確実に行いましょう【月1回以上】

冷却塔の使用開始時及び使用期間中は**一月以内毎に1回、定期的にその汚れの状況等を点検**することとされています。

その結果、**必要な場合は、冷却塔の清掃及び換水等を実施**してください。

【点検内容】

- ・集水槽、散水装置、充てん材、エリミネータ等の汚れ、損傷等
- ・ボールタップ及び送風機の作動状況 など

定期清掃を確実に行いましょう【年1回以上】

冷却塔及び冷却水の水管は、それぞれ**一年以内毎に1回、定期的に清掃**することとされています。

清掃にあたっては、物理的清掃のほか、**必要に応じ、化学的洗浄を行い、微生物や藻類の繁殖を抑制**しましょう。

物理的清掃(デッキブラシや高圧洗浄機による清掃)・・・汚れやスケール等を除去

化学的洗浄(過酸化水素や次亜塩素酸Na等による殺菌)・・・冷却水系全体の殺菌

※ 冷却水用の薬剤は、スケール防止、腐食防止、スライムコントロール、レジオネラ属菌の殺菌など
様々なものがあるため、用途に応じ適切なものを選択・使用しましょう。

自主検査を実施しましょう

定期的な冷却水の**レジオネラ属菌検査**により、日頃行っている**対策の効果を検証**しましょう。

検査の結果、**100CFU/100mlを超える場合は、直ちに化学的洗浄等を実施し、洗浄後、検出限界以下(10CFU/100ml)であることを確認**しましょう。



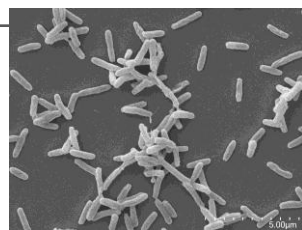
レジオネラ症について

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラを代表とする**レジオネラ属菌による細菌感染症**です。主な病型として、重症の肺炎を引き起こす「レジオネラ肺炎」と、一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」が知られています。

レジオネラ属菌

レジオネラ属菌は、**自然界(河川、湖水、温泉や土壌等)に生息している細菌**で、感染するとレジオネラ症を引き起こします。



(出典:北海道立衛生研究所)

感染方法

レジオネラ症は、主にレジオネラ属菌に汚染された**エアロゾル(細かい霧やしぶき)**の吸入などによって、**細菌が感染**して発症します。レジオネラ属菌は**ヒトからヒトへ感染することはありません**。

発生予防

レジオネラ症の発生を予防する**対策の基本は、レジオネラ属菌が繁殖しやすい状況をできるだけなくし、これを含むエアロゾルの飛散を抑制する措置を講ずること**です。特に、多数の者が利用する公衆浴場、宿泊施設、旅客船舶等の施設又は高齢者、新生児及び免疫機能の低下を来す疾患にかかっている者が多い医療施設、社会福祉施設等においては、入浴設備、空気調和設備の冷却塔、給湯設備、加湿器等における衛生上の措置を徹底して講ずることが必要とされています。

レジオネラ症を疑う症状が現れた場合、必ず医療機関を受診ください。

相談先

レジオネラ症やその防止対策についての相談は、**最寄りの道立保健所へお問い合わせください。**

【道立保健所の一覧及び連絡先】

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/dourituhokennsyo.html>



レジオネラ症を発生させないために

浴室・浴槽水等の管理を徹底しましょう

浴室

毎日清掃、定期的に消毒

浴槽水

豊富に供給、条例の頻度※に沿って換水

※連日使用型循環浴槽・・・1回/週以上、それ以外・・・毎日

集毛器

毎日清掃、消毒

ろ過装置

1週間に1回以上洗浄(逆洗浄)、消毒

循環配管
水位計配管

1週間に1回以上洗浄、消毒(必要に応じ化学洗浄)

貯湯槽

調節箱

1年に1回以上洗浄、消毒

→ 60℃以上に保つ(難しい場合は消毒設備を設置等)

シャワー

1年に1回以上内部を洗浄、消毒

1週間に1回以上通水

気泡発生
装置等連日使用型循環浴槽水の使用は不可
土ぼこり等侵入防止

自主検査を実施しましょう

定期的な浴槽水の**レジオネラ属菌検査**により、日頃行っている**対策の効果を検証**しましょう。

検査の結果、**10CFU/100mlを超える場合は、直ちに当該浴槽の使用を中止し、保健所にも相談の上、必要な洗浄や消毒等を実施**しましょう。



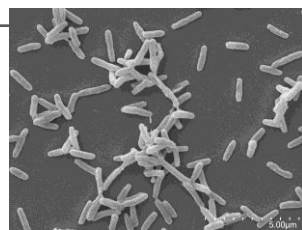
レジオネラ症について

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラを代表とする**レジオネラ属菌による細菌感染症**です。主な病型として、重症の肺炎を引き起こす「レジオネラ肺炎」と、一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」が知られています。

レジオネラ属菌

レジオネラ属菌は、**自然界(河川、湖水、温泉や土壌等)に生息している細菌**で、感染するとレジオネラ症を引き起こします。



(出典:北海道立衛生研究所)

感染方法

レジオネラ症は、主にレジオネラ属菌に汚染された**エアロゾル(細かい霧やしぶき)**の吸入などによって、**細菌が感染**して発症します。レジオネラ属菌は**ヒトからヒトへ感染することはありません**。

発生予防

レジオネラ症の発生を予防する**対策の基本は、レジオネラ属菌が繁殖しやすい状況をできるだけなくし、これを含むエアロゾルの飛散を抑制する措置を講ずること**です。特に、多数の者が利用する公衆浴場、宿泊施設、旅客船舶等の施設又は高齢者、新生児及び免疫機能の低下を来す疾患にかかっている者が多い医療施設、社会福祉施設等においては、入浴設備、空気調和設備の冷却塔、給湯設備、加湿器等における衛生上の措置を徹底して講ずることが必要とされています。

レジオネラ症を疑う症状が現れた場合、必ず医療機関を受診ください。

相談先

レジオネラ症やその防止対策についての相談は、**最寄りの道立保健所へお問い合わせください。**

【道立保健所の一覧及び連絡先】

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/dourituhokennsyo.html>



レジオネラ症予防のために

加湿器は適切に管理しましょう

お家等で超音波振動などの加湿器を使用するときは、**毎日水を入れ替えて容器を洗浄**しましょう。

レジオネラ属菌は60℃では5分間で殺菌されます。

水を加熱して蒸気を発生させるタイプの加湿器は感染源となる可能性は低いとされています。

循環式浴槽は適切に管理しましょう

循環式浴槽(追い炊き機能付き風呂・24時間風呂など)は、浴槽内に汚れやぬめりが生じないように、**定期的に洗浄等を行うなど、取扱説明書に従って維持管理**しましょう。

レジオネラ属菌は微生物の膜などでできる「ぬめり」で増殖します。

そのため、汚れやぬめりを落として、レジオネラ属菌が増殖しやすい環境をなくすことが大切です。

体調に異変を感じたら病院を受診しましょう

レジオネラ肺炎はレジオネラ属菌による細菌感染症であり、**抗菌薬で治療することが可能**です。
重症化しないためにも早期診断、早期治療が重要です。

高齢者や新生児は肺炎を起こす危険性が通常より高いので、注意が必要です。

また、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能が低下している人は、レジオネラ肺炎のリスクが高いとされています。

レジオネラ症についてもっと知りたい

道や厚生労働省のホームページを参考ください。

(道HP) (厚生労働省HP)



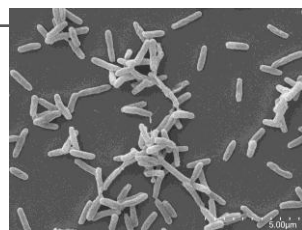
レジオネラ症について

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラを代表とする**レジオネラ属菌による細菌感染症**です。主な病型として、重症の肺炎を引き起こす「レジオネラ肺炎」と、一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」が知られています。

レジオネラ属菌

レジオネラ属菌は、**自然界(河川、湖水、温泉や土壌等)に生息している細菌**で、感染するとレジオネラ症を引き起こします。



(出典:北海道立衛生研究所)

感染方法

レジオネラ症は、主にレジオネラ属菌に汚染された**エアロゾル(細かい霧やしぶき)**の吸入などによって、**細菌が感染**して発症します。レジオネラ属菌は**ヒトからヒトへ感染することはありません**。

発生予防

レジオネラ症の発生を予防する**対策の基本は、レジオネラ属菌が繁殖しやすい状況をできるだけなくし、これを含むエアロゾルの飛散を抑制する措置を講ずること**です。特に、多数の者が利用する公衆浴場、宿泊施設、旅客船舶等の施設又は高齢者、新生児及び免疫機能の低下を来す疾患にかかっている者が多い医療施設、社会福祉施設等においては、入浴設備、空気調和設備の冷却塔、給湯設備、加湿器等における衛生上の措置を徹底して講ずることが必要とされています。

レジオネラ症を疑う症状が現れた場合、必ず医療機関を受診ください。

相談先

レジオネラ症やその防止対策についての相談は、**最寄りの道立保健所へお問い合わせください。**

【道立保健所の一覧及び連絡先】

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/dourituhokennsyo.html>

